

病害虫発生予察情報

10 月月報

令和 5 年 11 月 17 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2023 年 10 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	24.2	0.3	15.7	-0.1	19.6	0.1	66.5	67	38.7	97
中旬	24.1	2.0	12.2	-1.5	18.2	0.6	39.0	57	80.0	183
下旬	22.1	1.8	10.0	-1.2	16.2	0.6	1.5	2	81.4	150
平均	23.4	1.3	12.5	-1.0	17.9	0.4				
合計							107.0	47	200.1	145

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1991～2020 年の平均値）からの差（比）

上旬：低気圧や前線、寒気を伴う気圧の谷の影響で雨や雷雨の日があったが、西高東低の気圧配置や高気圧に覆われて概ね晴れた。

中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の中頃は低気圧や湿った空気の影響で雨や大雨の日もあった。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、気圧の谷や上空の寒気の影響で雨の日があり、雷を伴い大雨の日もあった。

2 作物生育概況

（1）イネ

収穫適期は例年より 5 日程度早いものの、刈遅れにより早生品種は収量が低かったが、中生品種の収量は例年並みであった。胴割れ米が多かった。

（2）野菜

果菜類：施設トマト、キュウリの生育はおおむね順調であった。露地ナス、ピーマンは例年に比べ収穫量が多かった。

葉根菜類：施設のコマツナ、ホウレンソウの生育は概ね順調であった。ブロッコリーは高温障害と思われる花蕾の不整形やリーフィーなどの発生が多かった。根菜類ではダイコンで空洞症の発生が多かった。ニンジンの生育は概ね順調であった。

いも類：サトイモは芽つぶれ症の発生が多かった。サツマイモの収穫は例年並みであった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

カキ：収穫始めは、平年と比べ‘早秋’で4日、‘太秋’で7日、‘伊豆’で6日、‘甘秋’で3日遅かった。収穫終わりは、平年と比べ‘早秋’で3日、‘太秋’で5日、‘甘秋’で5日遅く、‘伊豆’は平年並みであった。

‘早秋’	収穫始	10月5日（＋4日）	収穫終	10月16日（＋3日）
‘太秋’	収穫始	10月20日（＋7日）	収穫終	11月6日（＋5日）
‘伊豆’	収穫始	10月16日（＋6日）	収穫終	10月23日（±0日）
‘甘秋’	収穫始	10月16日（＋3日）	収穫終	11月2日（＋5日）

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アオムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
-----	-------	-----------

シロオビノメイガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 多 >	発生は多かった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや多 >	発生はやや多かった。
イチゴ		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでカイガラムシ類、サツマイモでナカジロシタバの発生がやや多かった。

小笠原：父島のカンキツ類でハモグリガ類とサビダニ類が、レイシでミノガ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

ウリミバエ	< 誘殺なし >
クインズランドミバエ	< 誘殺なし >
チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
トマトキバガ	< 誘殺なし >

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。